競技コースレイアウト

1　コース説明

コース路面には、幅 0.45, 0.9, 1.35m の緑色シートを使用します。
ラインは幅 18mm の黒色ビニールテープです。
図 1 にコースレイアウトを示します。(ただし、a=225mm)

ライントレース　ショートカット防止のため、1 点鎖線部に障害物を設置します。
この障害物は、距離センサが反応する大きさです。
また、ライン上 (破線部) に障害物 (迷路内の障害物と同じ) があります。
この障害物は回避して下さい。

迷宮　壁は高さ 15cm, 幅 5cm のスタイロフォームです。
直径 12.5cm, 高さ 15cm 程度の障害物があります。
直径 30cm の円盤が通過できる通路です。

標的倒し　2 個の標的を倒します。
標的のある方向を示すガイドテープが路面にあります。
標的を倒すために用具は危険なものでないこと。
　エアーガンのような「飛び道具」は禁止します。

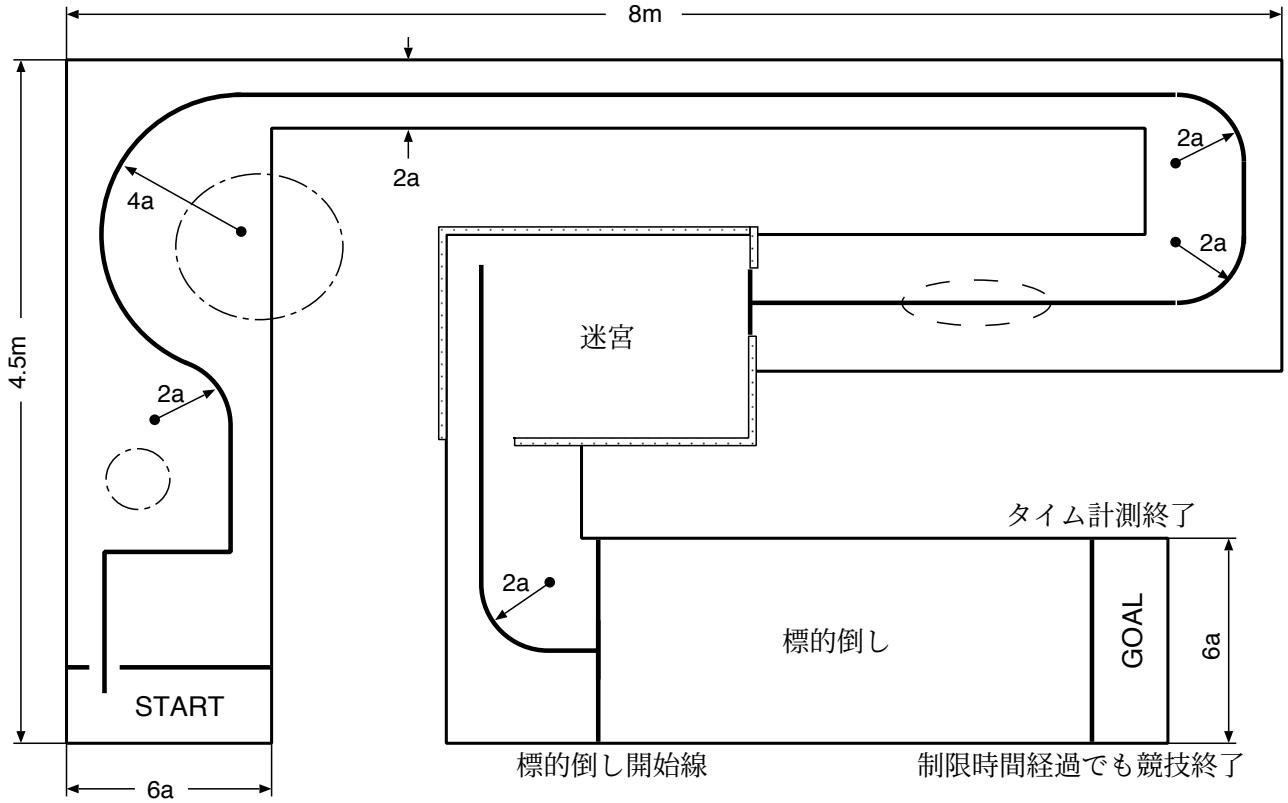

図 1: 競技コースレイアウト

2　迷宮

【レイアウト】　迷宮のレイアウト (例) を図 2 に示します。　障害物の正確な位置は不明です。

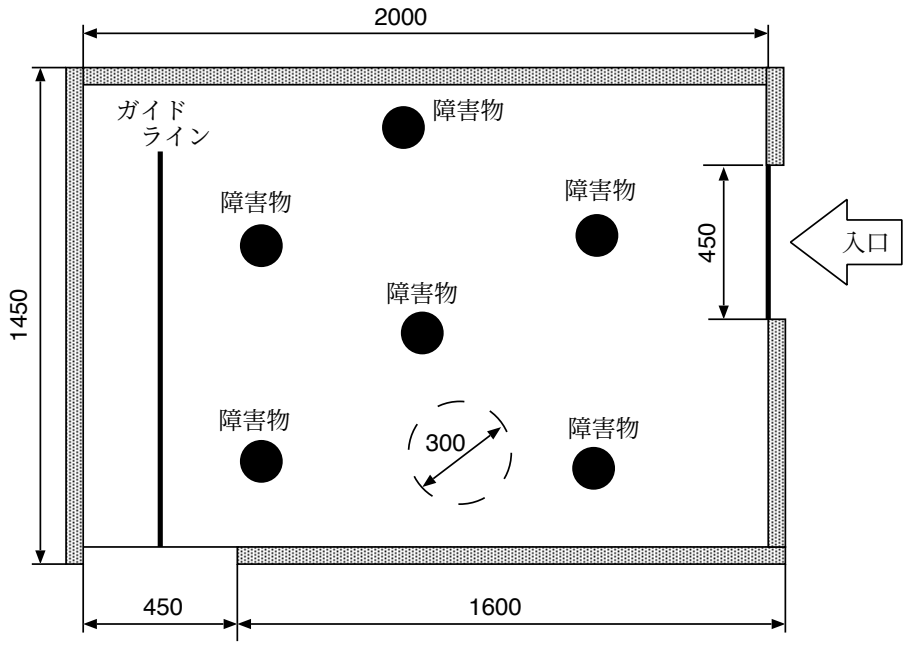

図 2: 迷宮レイアウト

【障害物】　障害物は、全て同じ形状です。

- 直径 125mm、高さ 150mm。
- 表面は黄色に塗装されています。
- 標準ロボットが障害物を動かしたり、持ち上げることのできない程度の重量です。

図 3: 障害物

3　標的倒し

【標的形状】　標的部を図 4 に示します。

- 標的は写真の黄色の部分で、押すと倒れます。標的の周りはガードされています。
- 標的は 30mm 厚のスタイロホームで、形状を図 5 に示します。標的の底部に M12 の六角ボルトが埋め込まれています (図 6)。
- ガードを固定するためにベース板に 25mm 厚の鋼材を使用しています。ベース板と標的の位置関係を図 7 に示します。

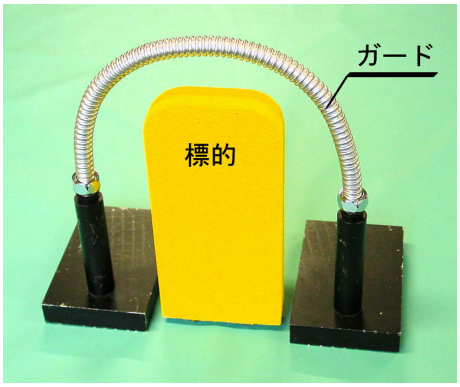

図 4: 標的部外観

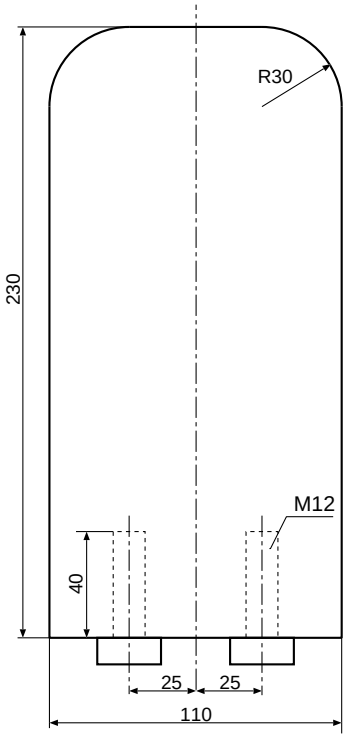

図 5: 標的形状

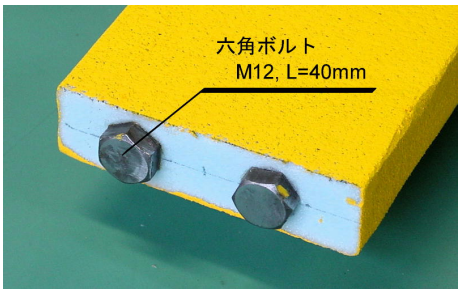

図 6: 標的底部

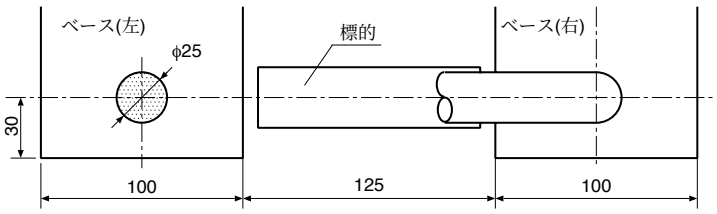

図 7: 標的とガード部のベース

【標的位置】　標的 (2 個) はエリアの左側と右側に置きます。

- 標的のある方向を示すため、ガイドテープを路面の中央部に貼ります。
- テープが 2 本の場合は左側、3 本の場合は右側に標的があります。
- テープの長さは 50cm, テープ中心線間隔は 5cm です。

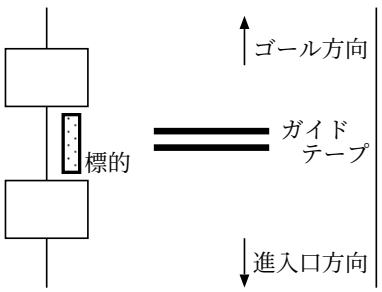

図 8: ガイドテープの例